

デジタルマルチメータ R6551

使用できる機種 R6551

品番	GP-IBボード	価格	動作環境
W32-R6551-R	ラトックシステム製	50,000円	WinXp/Vista/7 Excel2002/03/07/10
W32-R6551-N	NI製		
W32-R6551-C	コンテック製		

R6551は、エーディーシーの商標です。

機能

・データロガーとしての活用

指定された時間間隔で指定された個数のデータをリアルタイムにExcelシートに取込みます。

・製品検査への活用

被測定物を取り換えながら、個々のデータをExcelシートに取込みます。

概要

本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現われます。ファンクション、測定レンジ、時間間隔、取込回数等を設定し「START」ボタンをクリックするとデータの取り込みを開始します。

スタートすると、ファンクション・測定レンジ・サンプリング速度を設定した後、指定されたサンプリング時間間隔で、指定されたサンプル数のデータを取込みます。必要なら日付時刻も付加することもできます。

Excelシートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excelの機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。また、事前にデータが取込まれる領域をExcelのグラフウィザードで設定しておけば、データ取込とグラフ化がリアルタイムに行えます。
※本アドインに自動グラフ作図機能はありませんので、Excelのグラフウィザードを使用して作図してください。

操作説明

注)R6551のGP-IBコマンドは「0」にセットしてください。(R6551のマニュアル参照。通常は「0」になっています。)

測定器からデータの取込を開始します。

測定中は「赤色」、ポーズ中は「青色」、停止中は「灰色」となります。

測定ファンクションを設定します。

R6551本体で設定したGP-IBアドレスと同じ値を設定します。

測定レンジをAUTO/MANUALで切替えます。AUTOのチェックを外すとレンジ入力用テキストボックスが現れますからレンジをキーボードから入力します。厳密な値を入力する必要はありません。入力された値が一番近い1つのレンジに設定されます。

チェックすると、測定中、FREE RUNとなり、チェックを外すとHOLDモードになります。

R6551のサンプリング速度を設定します。

データの入力と共にシートをスクロールします。

データに日付時刻を付加します。

最初のデータ取込時、測定項目名等のヘッダを付加します。

データの取込を一時中止します。もう一度クリックすると、取込を再開します。

データの取込を停止します。

測定中、間欠時間が2秒以上の時、サンプリングまでの残り時間をカウントダウンします。

スポット測定モードの場合だけに使用可能です。再測定のため1つ前の測定値を削除します。

「PAUSE」中、有効となり、クリックする毎にデータを取り込みます。

測定中、取込の残り回数を表示します。

Excelシート上のカーソルを左右・上下に移動しデータ取込開始位置を決定します。「START」ボタンをクリックするとカーソル位置から下方へデータを取込みます。

データを取込む回数を指定します。但し、「STOP」ボタンでいつでも中断できます。また、何も入力されていないときは、64000回と解釈されます。入力できる最大回数は、64000回です。

測定値と同時に測定開始からの経過時間をExcelに入力します。

データを取込む時間間隔を秒の単位で入力します。ここで入力した時間と実際の時間間隔では若干の差異が発生します。何も入力が無い場合やゼロが入力された場合は、最速でデータを取込みます。入力できる最大時間は、3600秒です。

アドインを終了します。

スポット測定モードの使用法

「PAUSE」ボタンを先にクリックして、その後「START」ボタンをクリックすると「スポット測定モード」になります。マルチメータの設定が行われた後、「SPOT」ボタンのクリック待ちとなります。「SPOT」ボタンをクリックする毎にデータがExcelシートに取込まれます。この時「SPOT」ボタンをクリックする代わりに「スペース」キーを押しても同様の結果となります。この「スポット測定モード」では、「経過時間」の欄には1,2,3...と「連続番号」が入力されます。

例えば、被測定物を取り換えながら、個々の被測定物の測定を行う場合に便利です。「スポット測定モード」を終了するためには、「STOP」ボタンをクリックします。